

殺処分0を目指して

- 1、 繁殖には 反対しています
- 2、 不妊・去勢手術の推進をしています
- 3、 行き場のない犬・猫の家族探しをしています

1、繁殖には反対しています

「何回も産ませるわけではない！ この子の子供がみたいから 1回だけ！！」

「1回ぐらいは 産ませてあげたい」

どちらも よく聞く話ですが

あなたは 生まれてくる子達を全て 自分の責任で幸せに出来ますか？

仮に子供はすべて信頼できる人の家族となったとしても そこから生まれる子供たち 孫やひ孫たち・・・

現在”殺処分”されている犬猫の多くが、安易な繁殖、不要な繁殖、儲け主義だけの繁殖によって生まれた子犬と、子猫なのです。

同じ犬種の十数匹 一斉放棄も 珍しい話ではありません。



←廃業ブリーダーによって
動物愛護センターへ 持ち込まれた柴犬。

持ち込みされた犬は 翌日 殺処分されます。



FNNのニュース：2008年10月22日

チワワ17匹保護 ブリーダーが捨てたか(東京都)

八王子市保健所によると、今月9日から13日にかけて、八王子市長房町付近でチワワが相次いで17匹見つかり、保健所が10匹を、近隣の住民が7匹を保護したという。保健所が保護したチワワを預かっている「東京都動物愛護相談センター」の職員は、「ブリーダーが何らかの理由で捨てた可能性が高い」「犬を飼いきれなくなったからといって、捨ててしまうのは犯罪行為ですので絶対にやめていただきたい」と話している。

保護されたチワワは、いずれも元気で、24日以降、センターですでに講習を受けた希望者に譲り渡されるという。

繁殖の果てに 失われる命・・・

1回だけ・・・1回ぐらいは・・・誰もがそう思い そうしたら・・・

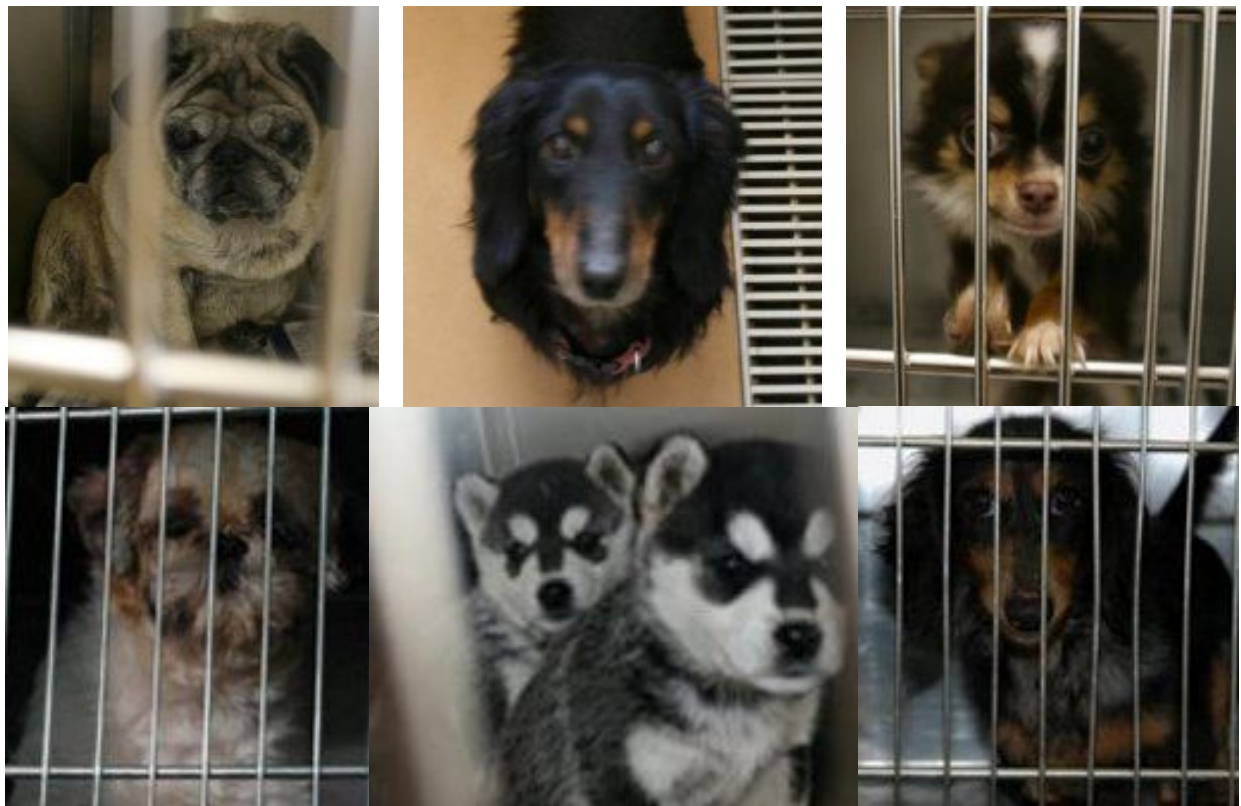
失われる命の数はどうなると思いますか？

純血種もセンターには 絶えまなく収容されています。

この収容されている子たち ペットショップと変わらない光景だと思いませんか？



日々失われていく これらの命...それでも 繁殖をさせますか？



あなたが産ませた子犬たちを引き取ってくれた人たちは
もしかしたら...この子たちを センターから救え出せた人だったかもしれないのです。

ちばわんは 不幸な命を無くすため 繁殖に反対します。

2、不妊・去勢手術の推進をしています

日本では毎年数十万頭もの罪のない犬猫が、飼う人がいないというだけの理由で”殺処分”されています。そのほとんどが、飼い犬が生んだ子犬と、子猫なのです。殺処分数を減らすために誰もができること、それは不妊・去勢手術を必ず行う、またその意識をひろめることであると言えます。

動物との共生社会としてはまだまだ発展途上にある日本では、動物愛護先進国であるヨーロッパやアメリカなどと比べれば、不妊・去勢手術に関する意識は残念ながら極めて低いと言わざるを得ません。

よく言われるのが”自然のまま”という文句ですが、人間社会の家庭で暮らしている犬猫たちは、もうすでに”自然のまま”ではあり得ません。

かけがえのない愛しい家族と少しでも永く共に楽しく暮らすため、病気を未然に防ぐため、そして何よりもこれ以上、この世で生きる楽しみも愛される喜びも知らないままに殺されてしまう命を減らすために、愛犬・愛猫には必ず不妊・去勢手術を受けさせるという意識を日本でもひろめていくことが重要だと考えています。

センターに持ち込まれる生まれたばかりの子犬たち



センターでは 乳飲み子を育てることが出来ないため 即処分です。

千葉県動物愛護センターの http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/aigo/toukei/toukeihikitori.html 統計によると

平成19年度	成犬	子犬	成猫	子猫
引き取り数	1016匹	1020匹	815匹	5769匹

子犬の引き取り数は 成犬とほぼ同数。子猫の引き取り数に至っては 成猫引き取り数のおよそ7倍です。不妊・去勢手術をきちんと行っていれば 単純に子犬・子猫の数だけ収容数も殺処分数も無くなります。

不妊・去勢手術をしてさえいれば 処分されるだけに生まれてくる子たちはいません。

時には 妊娠中の犬を持ち込む人もいます。

センターの厳しい環境で 家族同様に暮らした愛犬に子育てをさせるのですか？

子育ての終わった母犬は 処分の対象になることをご存知ですか？

持ち込んだ犬は あなたの愛する家族ではなかったのですか？

ちばわんは 不幸な命を作らないために 不妊去勢手術を推進しています。

病気の中には ホルモンを栄養源にして大きくなる悪性腫瘍(乳腺腫瘍・前立腺腫瘍など)があります。不妊去勢手術をすれば 栄養源となるホルモンの分泌が抑えられ 悪性腫瘍の発症を予防できます。

ちばわんは 愛犬を病気から守るために 不妊去勢手術を推進しています。

3. 行き場のない犬・猫の家族探しをしています

ちばわんは、2002年初めから犬猫家族探しの活動を始めました。

皆様の暖かいご支援・ご協力のおかげで2009年末までに子犬850匹以上、成犬730匹以上、猫620匹以上の幸せを繋ぐことができました。

残念ながら救えなかったたくさんの尊い命もありましたが、必死に生きる命を守りたい、1頭でも多くの子を暖かいご家族のもとへ送り出したいという思いで、多くの仲間たちと力を合わせてがんばっています。

現在は主に動物愛護センターに收容された命を保護し、本当のご家族と出会うための幸せ探しのお手伝いをしています。

全国各地にある”動物愛護センター”。

名称は”愛護”ですが、その業務の大半は”犬の捕獲・不用犬猫の引き取りと殺処分”です。

千葉県は、残念ながら年間殺処分数が 常に全国上位です。

何とかこの”殺処分”数を減らしたい、1頭でも多くの犬猫にもう一度生きるチャンスを与えたいと願い活動する人々が増えています。

2007年4月には、千葉県動物愛護センターの登録ボランティア譲渡制度が正式発足しました。

ちばわんは2008年1月に認可を受け、引き出し・再譲渡活動を続けています。



千葉県動物愛護センターの收容部屋にて わずかな太陽の光を求め最期のときを過ごす子
全ての子が 明るい太陽の下へ出られる日が来ることを…
何よりもここに收容される子がいなくなることを切に願います。

「笑顔を取り戻した天使たち」 http://route326.kir.jp/satooyakettei/satooyakettei_2009.htm を ぜひ ご覧下さい。

